

東近江市のまちづくり協議会

令和3年度 各地区の取り組み

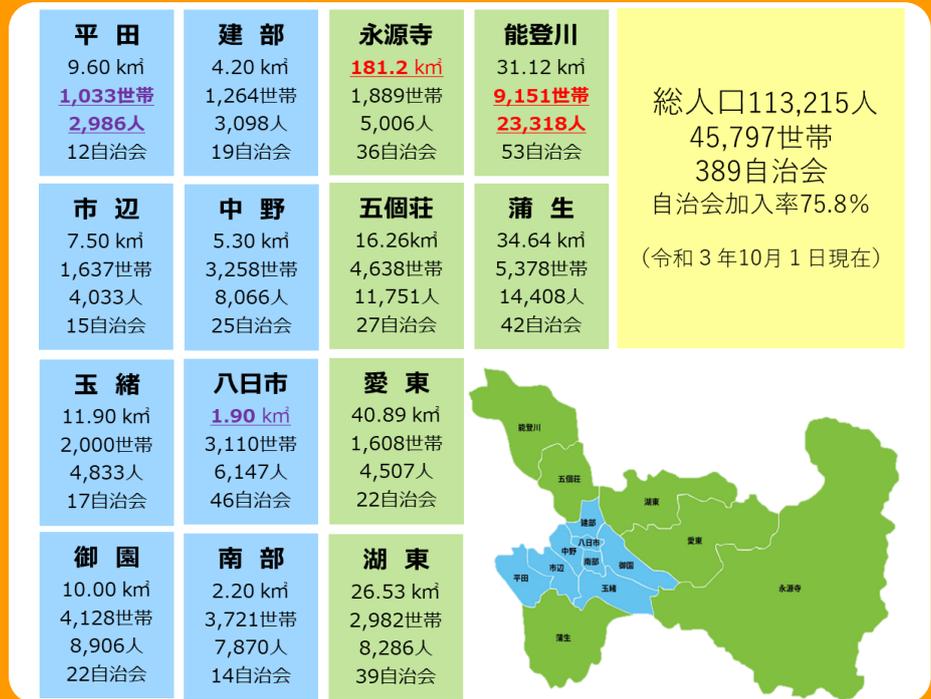


まちづくり協議会のあゆみ

◇東近江市の誕生

平成17年2月11日に1市4町(八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町)が合併。

その後、平成18年1月1日に蒲生町・能登川町と合併し、現在の形になりました。



◇まちづくり協議会の誕生

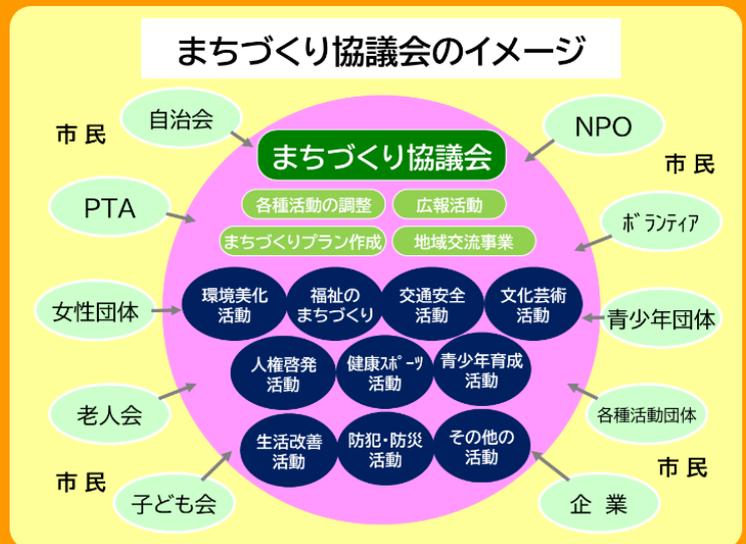
合併することにより、行政サービスの低下、各地区の個性や伝統文化が失われることが懸念されました。

そこで、市民が自主的に参加して、それぞれの地域課題を解決し、各地域の個性を活かしたまちづくりを行うため、東近江市の14地区すべてで「まちづくり協議会」が組織されました。

平成26年4月に「協働のまちづくり条例」が施行され、その中で、まちづくり協議会の位置づけ等も定められました。

まちづくり協議会は、まちづくりに包括的に取り組む団体として、また、行政の重要な協働のパートナーとして、ますます活躍が期待されています。

現在、14地区全てのまちづくり協議会が、各地区にあるコミュニティセンターを拠点として活動しています。



◇まちづくり協議会の設立日及びコミュニティセンター指定管理開始日

協議会名	協議会設立日	コミュニティセンター 指定管理開始日
平田地区まちづくり協議会	平成17年 12月23日	平成23年 1月1日
市辺地区まちづくり協議会	平成19年 2月25日	平成23年 10月1日
玉緒地区まちづくり協議会	平成18年 12月10日	平成24年 1月1日
御園地区まちづくり協議会	平成18年 10月21日	平成24年 10月1日
建部地区まちづくり協議会	平成18年 2月25日	平成23年 10月1日
中野地区まちづくり協議会	平成18年 12月9日	平成24年 4月1日
八日市地区まちづくり協議会	平成18年 12月2日	平成24年 4月1日
南部地区まちづくり協議会	平成17年 9月19日	平成23年 4月1日
永源寺地区まちづくり協議会	平成17年 9月30日	平成26年 4月1日
五個荘地区まちづくり協議会	平成18年 3月18日	平成25年 4月1日
愛東地区まちづくり協議会	平成17年 5月21日	平成24年 10月1日
湖東地区まちづくり協議会	平成17年 7月14日	平成24年 4月1日
(一社)能登川地区まちづくり協議会	平成19年 3月10日	平成24年 4月1日
蒲生地区まちづくり協議会	平成18年 11月18日	平成25年 4月1日

※ (一社)能登川地区まちづくり協議会は、平成25年4月1日に法人化されました。

◇東近江市協働のまちづくり条例（抜粋）

(まちづくり協議会)

第18条 まちづくり協議会とは、地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する地域自治組織をいう。

2 市は、次の各号の要件を満たすまちづくり協議会を、一地区について一団体を認定するものとする。

- (1) 地区自治会連合会等の多様な主体が参画し、地区のまちづくりに包括的に取り組んでいること。
- (2) 地区のすべての市民を対象としていること。
- (3) 民主的な運営を行うため、規約を定めていること。
- (4) 地区のまちづくりの基本方針等を定めた「地区まちづくり計画」を策定していること。

(5) 運営に当たる役員や代表者は、民主的に選出されたものであること。

(6) 運営の透明性が確保されていること。

3 市は、まちづくり協議会の認定後、前項に規定する要件を満たしていないと認めた場合は、改善を求めなければならない。

4 市は、まちづくり協議会の活動を尊重し、技術的及び財政的援助等の必要な支援を行うものとする。

5 市民は、まちづくり協議会の活動に積極的に参加し、相互の交流を深めながら協働するものとする。

6 まちづくり協議会は、地区の課題を解決するため、市及びその他の組織と協働してまちづくりを推進するものとする。

7 まちづくり協議会は、各地区コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、市と協働して運営するものとする。

● 平田地区まちづくり協議会

(愛称) ひらた夢回議

(テーマ、スローガン) 平田地区で、誰もが住み続けたい、住んでみたくなるまちづくり

【令和3年度】

設立日	平成 17 年 12 月 23 日	認定日 (当初)	平成 18 年 1 月 16 日
コミセン指定管理開始日	平成 23 年 1 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市下羽田 84-5 平田コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-22-1950 〈IP 番号〉 050-8034-1950 〈FAX〉 0748-22-1950 〈e-mail〉 hirata-co@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://hirata-yumekaigi.com		
代表者	会長 増田 伊知郎	会員数	地区住民
会議・組織	本会役員 会長、副会長3名、会計、事務局長、会計監事2名 評議委員会 自治会長 12 名 企画運営委員会 本会役員 (会計監事を除く)、特別部会長、専門部会長 地域担当職員		
予算等の概要	〈一般会計〉 まちづくり総合交付金：1,386 千円／その他：239 千円 〈指定管理会計〉 コミセン指定管理料：14,169 千円／その他：1,131 千円 雪野山歴史公園等指定管理料：3,680 千円／その他：62 千円 平田体育館等指定管理料：6,800 千円／その他：211 千円 〈業務委託〉 地域子育て支援拠点事業運営委託料：4,800 千円		
情報紙の発行	平田のみんなの情報誌「ひらたから」(A4版) 毎月発行 発行部数 1 千部／月 主な内容 活動報告、行事案内、お知らせ 等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>■自治会連合会との連携</p> <p>○合同研修会の実施 今年度東近江市では「自治会運営のヒント集」が作成されました。これを使って、各自治会が抱える課題等を踏まえ、これからの自治会運営について意見交換しました。</p> <p>■地域子育て支援拠点「すずかけっこ」の運営</p> <p>開設日 : 月曜日～金曜日 時間 : 午前 10 時～午後 3 時 場所 : 平田コミュニティセンター</p> <p>すずかけっこは、子育て中の親子が、ほっとできる笑顔になれる、いろいろな人に出会える、元気になれる、そんな場所になればと思います。</p>		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【若者定住】

・ひらたロケット教室の開催
子どもたちに「どうせ無理」をなくし、一人ひとりがチャレンジすることの大切さに気付いてもらうため、本物のロケットと同じ原理で飛ぶ紙ロケットを製作し、打ち上げました。

・若者が求める地域活動を考える座談会

【子ども・子育て応援】

・ママ友交流会の開催



・「げんきっこ・ひらた」の活動

【高齢者福祉】

・平田地区体力測定会の開催
65歳以上を対象に握力、上体起こし、開眼片足立ちなど6項目の体力測定を実施した。

・命のバトン事業

【田園環境】

- ・第4回「平田の田園環境」写真コンテストの開催
- ・地域散策ガイド事業（散策路の整備や案内看板設置など）
- ・蒲生野トレイルマップ（瓶割山～雪野山）の作成
- ・里山活動団体との意見交換会の開催

【地域活性化】

- ・蒲生スマートIC活用プランを考える平田地区と蒲生地区まち協の共同プロジェクト
- ・雪野山自然観察ハイキングの実施

【公園管理運営】

平成21年4月から雪野山歴史公園・華岳山公園の指定管理者として、多くの方に、安全に楽しく利用していただけるよう施設管理を行っている。

【平田体育館・平田グラウンド管理運営】

令和元年度から指定管理者として、市民が日常的にスポーツに親しみ、健康増進を図るため、平田コミセンと一体的に施設の管理運営に努めている。



● 市辺地区まちづくり協議会

(愛称) 万葉のまち ^{いちのべ}市辺 (テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住みつづけたい

【令和3年度】

設立日	平成 19 年 2 月 25 日	認定日 (当初)	平成 19 年 3 月 1 日
コミセン 指定管理開始日	平成 23 年 10 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市市辺町 2391 (市辺コミュニティセンター内) 〈IP 電話/fax〉 050-5802-3392 〈 e-mail 〉 ichi-kyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://ichinobe.sakura.ne.jp/wp/		
代表者	会長 須田 ^{ちひろ} 智廣	会員数	107 名
会議・組織	役員会：7 名 (会長・副会長 3 名・事務局長・コミセン業務主任者・会計) 運営委員会：29 名 (役員・全自治会長・各種団体代表・各専門部会長) まちづくり委員：91 名 専門部：広報部 8 名 自然環境部 31 名 地域活力部 12 名 歴史・文化部 10 名 減災・安全・安心部 10 名 健康・福祉部 11 名 こども健全育成部 8 名 市福みらい会議：座長 1 名		
予算等の概要	<一般会計> 総合交付金：1,462 千円 / その他：277 千円 <特別会計> コミセン指定管理料：13,483 千円 / その他：710 千円		
情報紙の発行	まち協広報誌 「万葉のまち市辺」 (第 55 号・56 号・57 号・58 号) 年 4 回発行 <主な内容> 各部活動紹介・このまちこの人・保健センターだより紹介など コミセン広報誌 「市辺だより」 毎月発行 ※両誌共に音声テキスト版発行 <主な内容> 事業開催の案内・各種活動の紹介など Facebook：名称「市辺まちづくりセンター」 / LINE：名称「市辺まち協&コミセン」		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などでPR できること	<p>○指定管理…コロナウイルス感染予防の観点から、慎重な判断とコミセン利用の皆さんのご理解協力の下、各種事業も 8 割近くできました。</p> <p>○組織運営…役員会、運営委員会の開催、専門部会等開催。年間の事業計画に基づき取り組んでいます。(各種会合は短時間実施や日程変更の工夫をしておの取り組みとなりました)</p> <p>○減災活動…自治連、自主防災組織、民生委員、地区社協の参加により「減災連絡会議」を本年度よりスタートしました。</p> <p>○地域福祉活動…誰もが安心して暮らせる地域福祉のまちづくりを目指して「市辺の福祉を考える“市福みらい会議”」(第 2 層協議体)を各種団体と協働で取り組みました。</p> <p>○蒲生野万葉資料整備活動 …「万葉の森 船岡山」の展示パネルを作成し、コミセン内に掲示しました。 / 船岡山のムラサキ植栽地案内看板の製作と設置</p> <p>○まちづくり専門部会の事業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化部 布施山城散策道の整備、歴史発見塾 (布施神社)、飯道山ハイキング、蒲生野万葉短歌会の開催 ・自然環境部 コンポスト普及推進、園児へ芋配布、レタス苗・ゴーヤ苗配布 ・健康福祉部 グランドゴルフ「まち協会長杯」開催、ご長寿ふれあいサロンの共催 ・安全安心部 防災減災放送 (毎月 1 日)、減災かるた出前授業、防犯パトロール ・地域活力部 ムラサキの栽培研究・ムラサキ苗木の頒布 ・こども健全育成部 文化祭で「おうちで縁日セット」配布 子ども夢実現プロジェクト「鎧・十二単試着会」開催 		

指定管理 ・ 組織運営 ・ 他団体との連携 ・ まちづくり活動等の取り組み紹介

自然環境部

「レタス苗の配布」



「ゴーヤ種まき」



「大豆の種まき」



歴史文化部 <市辺歴史発見塾>

「布施神社の建築様式」講演会



「飯道山ハイキング」



「布施山城址への山道整備」



「蒲生野万葉短歌会」



コロナ禍で表彰式は実施できず
審査結果発表会を実施

子ども健全育成部

「おうちで縁日セット」配布



「鎧・十二単の試着会」



地域活力部

「ムラサキ苗の植栽」



**減災・安全
安心部**

「減災かるた
の出前授業」



健康福祉部

「グランドゴルフ大会
まち協会長杯」



● 玉緒地区まちづくり協議会

(愛称) ハートフル玉緒

(テーマ、スローガン) 『自然と共生し、みんなで創る輝く玉緒』

【令和3年度】



設立日	平成 18 年 12 月 10 日	認定日 (当初)	平成 18 年 12 月 14 日
コミセン指定管理開始日	平成 24 年 1 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 28 年 4 月 1 日
事務所連絡先	〈所在地〉 東近江市大森町 1030 番地 玉緒コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-22-6479 〈IP 番号〉 0505-801-6479 〈FAX〉 0748-22-6479		
代表者	会長 藤川 万嗣	会員数	まちづくり委員 55 名
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会 会長、副会長 3 名 (1 名は当該年度自治会連合会会長) 事務局長 (コミセン館長兼務)・会計・会計監事 2 名 ・ハートフル玉緒自主防犯隊 (143 名) ・運営委員会 役員・専門部代表者等 (23 名) ・専門部会 広報企画部、環境整備部、歴史文化部、安全安心部、健康スポーツ部、福祉部、子ども健全育成部、地域活動部 		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金：1,582 千円/その他：1,338 千円 <特別会計>指定管理料：13,565 千円/その他：674 千円		
情報紙の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの情報誌「ハートフル玉緒」カラー版 年 3 回発行 その他の月は 2 色刷りを発行。部数 1,500 部 ・まちづくり協議会活動報告、文化・歴史・地域等の紹介 		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特に PR できること	<まちづくり協議会活動> ① コミセンの指定管理に伴う、管理運営を行う。 ② 協議会が、自治連・各種団体と共に 3 大事業 (夏祭り・スポーツフェスティバル・文化祭) の企画～運営を行っている。(夏祭り・スポーツフェスティバルは中止。文化祭は展示のみ) ③ 「ハートフル玉緒自主防犯隊」による地域パトロールの実施。 自治連・各種団体が地域全体事業として、防犯・防災・安心の為に青パトカーによる巡回を実施。 <部会活動> ① 環境整備部 里山整備、桜並木の整備、里山体験授業・里山保育の支援。 ② 歴史文化部 遺跡・伝統文化の保存継承。 ③ 広報企画部 地域の情報発信「ハートフル玉緒」発行、LINE での情報発信。		

令和3年度事業実施状況

① 桜並木の整備 6月13日(日) 10月17日(日)

まちづくり委員延 21 名が、布引丘陵ウォーキングコースの桜の寄生木を除去し、カブト虫寝床用チップに加工しました。



②大森城址整備事業 9月23日(祝) 11月7日(日) 11月14日(日) 3月13日(日)

まちづくり委員延50名により、城址内の草刈・階段設置及び休憩用丸太設置作業を実施しました。



③ 玉緒小学校4年生の「里山体験授業」 11月16日(火) 11月25日(木)

里山広場において、薪割りや木を切る体験及び基地づくり等を行い、里山について学習する里山体験授業を支援しました。



④玉緒幼稚園児の里山保育 11月25日(木)

玉緒幼稚園児が園舎から 1.5 km先の布引丘陵の麓まで歩き、更に標高 230m の大森城址まで登る里山保育事業を支援しました。



⑤ 玉緒地区文化祭 11月4日(木) ~11月7日(日)

恒例の文化祭は、展示のみ。今年度も、玉園中学校3年生の作品展示参加がありました。



● 御園地区まちづくり協議会

〔令和3年度〕

設立日	平成 18 年 10 月 21 日	認定日（当初）	平成 18 年 10 月 30 日
コミセン 指定管理開始日	平成 24 年 10 月 1 日	認定日 （条例による認定）	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	<所在地>東近江市 五智町351-2 御園コミュニティセンター内 <電話番号・FAX> 0748-22-0503 <IP電話> 050-8034-0503 <E-mail> misono-c@e-omi.ne.jp（御園コミュニティセンター内）		
代表者	会長 小梶 善治	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 6人（会長、副会長、事務局長 会計、会計監事2名） 運営委員会 16人（役員、自治会正副会長、企画委員） 企画委員会 10人（長、副会長、事務局長、企画委員） まちづくり会議（自治連役員、各種まちづくりの活動組織、市関係者など） 会議：総会1回、運営委員会4回、企画委員会12回、まちづくり会議2回 活動：防犯パトロール事業、子ども体験事業、学校支援事業、 健康寿命推進事業、ふれあい事業など		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金：2,014千円/その他：125千円 <指定管理会計>コミセン指定管理料：13,457千円/その他：82千円		
情報紙の発行	・【まち協みその】A4版4～8ページ 毎月発行 発行部数2,200部/回 まち協、自治連、コミュニティセンター、各種団体の情報紙として発行 ・主な内容：まち協、自治連、各種地縁団体、ボランティアグループ、 コミュニティセンターなどの活動紹介や講座PR、まちの話題など		
指定管理や組 織運営、自治連 や各種団体と の連携、まちづ くり活動など で特にPRで きること	・まちづくり計画：2021年から2030年までのまちづくり計画を更新し御園地区で大切にしたい事を次の五つの基本方針として取り組んでいます。 1) 健康：健康で楽しいまちづくり 2) 子ども：子供を軸に共に学び育つまちづくり 3) 高齢者：生き生きと暮らせるまちづくり 4) 防犯・防災：安心して暮らせるまちづくり 5) 交流：交流でにぎわいあふれるまちづくり また、計画が絵に描いた餅にならないよう、推進体制を強化、次々に生まれる小さな思いやアイデアを育てるため、コミュニティセンターを中心に支援体制を強化しています。 ・組織運営：昨年、組織とまちづくりの運営方法を変更しました。 1) 運営委員会は各種団体長を委員とした形から改編し、役員、企画委員、自治連正副会長で構成、実務者中心として、実行力を高めています。また、オンライン会議を多用しタイムリーな判断、活動を目指しています。 2) 御園まちづくり会議を新設し、地域で活動するすべての団体が集まり、活動の共有や意見交換をする全体会議と、テーマごとに集まり役割分担や協働について意見交換を行いコラボレーションが生まれる場を目指しています。 ・指定管理 まちづくり協議会と自治会連合会の事務局をコミュニティセンターが担う事でコミュニティセンターをまちづくりの拠点とした活動が出来ています。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

令和3年度活動紹介

1、御園地区まちづくりの推進

まちづくり計画の作成



2021年から2030年までの10年の活動計画を作成しました

2、健康寿命を延ばす活動（健康専門家会議）

2-① 認知症予防の知ってお得な豆知識 6回掲載



3、防犯のまちづくり



防犯ボランティアパトロール隊によるパトロールを実施

2-② 認知症の不安を軽減する講座を開催



8月18日(水)開催

2-③ 気持ちを明るくするメイク講座を開催



11月10日(水)開催

4、学校支援事業（花とみどり）

いもの収穫



6月23日(水)実施

さつまいもの収穫



10月8日(金)実施

5、野菜で仲間づくり

花とみどり・農で活躍・マハロ・ちびっこサークル



5月26日(水)ヤーコンの苗植えを実施

6、子ども体験事業（かきみそのチャオ）

CIAOのクリスマス2021



12月4日(土)開催

7、地域ふれあい事業

御園地区桜まつり



3月30日(水)開催

8、包丁・はさみ・おもちゃの再生病院



毎月1回開催

9、元気をもらえる居場所づくりマハロ



1月15日(土)いちご狩りを実施



1月30日(日)味噌仕込み体験

● 建部地区まちづくり協議会

(スローガン)『支え合い、助け合いの郷づくり』

【令和3年度】

設立日	平成 18 年 2 月 25 日	認定日 (当初)	平成 18 年 3 月 2 日
コミセン 指定管理開始日	平成 23 年 10 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 28 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市建部日吉町 31 番地 (建部コミュニティセンター内) 〈電話番号・FAX〉 0748-22-0303 〈IP 番号〉 0505-801-0303 〈e-mail〉 tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 渡辺 康雄	会員数	個人会員 60 名、団体会員 12 団体
会議・組織	評議委員会 18 名 (自治会長) 運営委員会 17 名 (地域団体代表者、まち協役員) 役員会 16 名 (会長、副会長 x3、事務局長、会計、部会長 x4、コミセン館長、地域担当職員 x5) 専門部会 4 部会 (環境美化、歴史文化、健康福祉、広報) 会員の範囲 (建部地区に居住する住民で構成) ・個人会員 (本会の趣旨に賛同し、参加する個人) 60 名 ・団体会員 (自治会連合会及び本会の趣旨に賛同する地域団体) 12 団体		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金：1,232 千円/その他：859 千円 <特別会計>コミセン指定管理：13,496 千円/その他：933 千円		
情報紙の発行	地域の身近な情報誌として「建部だより」を毎月 1 回発行 (年 12 回) A4 版 4~6 頁 (カラー) 発行部数 1,000 部/回		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PR できること	<ol style="list-style-type: none"> まち協役員および推進体制 <ol style="list-style-type: none"> 役員会は 16 名で構成します。(地域担当職員を含む) 役員会の活性化 役員会を毎月第 2 火曜日に開催します。議論を活発化させ、効率良く行うため、会議資料を充実させています。会議での決定内容の確認とフォローのため議事録を発行します。 自治連、各地域団体との連携 <ol style="list-style-type: none"> 自治会連合会の会長がまち協の副会長に就任することで、自治連との連携を深めています。 12 の地域団体長とまち協役員が、まち協の運営に関し定期的に協議します。 まち協の企画・運営および総会提出議案について意見を求めるため、自治会長で構成する評議委員会を必要に応じ開催します。 今年度の定期総会はコロナ感染拡大防止のため、書面決議としました。 研修事業の推進 まち協会員および地域団体関係者を対象としたまちづくり研修を毎年実施していますが、今年度はコロナの影響で中止しました。 コミュニティセンターの指定管理の進捗状況 <ol style="list-style-type: none"> 指定管理の開始から 11 年目を迎え、地域住民の身近な施設として、また地域の皆さんに気軽に利用していただくため、開かれた施設運営を目指して取り組んでいます。 研修室内のクロスの張替え工事を行いました。 コミセンの従来の役割 (「生涯学習の拠点」、「まちづくりの拠点」) に「地域福祉の拠点」を加えました。 		

まちづくり活動等の取り組み紹介

令和3年度に実施した活動

1. 環境美化事業への取り組み

- ①植栽箇所およびポケットパークの草刈、コミセン前庭の剪定作業を年2回実施しました。(6月12日、10月2日)
- ②生ゴミの減量化を図るため、9月18日にダンボールコンポスト講習会を開催しました。
- ③愛知川左岸堤防のごみ拾いを12月5日に実施しました。



植栽箇所の草刈り作業(年2回)

2. 歴史文化事業への取り組み

- ①前年度に作成した建部ウォーキングマップを使って、建部ふるさとウォークを5月23日に開催しました。
- ②歴史探訪として、12月14日に瓦屋禅寺に参拝し、住職から禅の教えを学び、座禅や写経を体験しました。
- ③聖徳太子薨去1400年記念事業に参画するため、瓦屋寺プロジェクトを立ち上げ、参道整備事業に取り組み始めました。(プロジェクト期間は令和3年11月～令和5年10月)
- ④歴史講座を2月19日に開催し、大沼芳幸氏から「近江の聖徳太子文化とまちづくり」の演題で講演をしていただき、まちづくりのヒントをいただきました。



建部ふるさとウォーク

3. 健康福祉事業への取り組み

- ①子ども見守り活動の一環として、毎月2回、3カ所でまち協会による交通立番を行いました。
- ②チャリティゴルフ大会を10月19日に開催し、チャリティ募金を建部地区社協に寄附しました。
- ③健康寿命を延ばし、高齢期を元気に楽しく過ごせるよう「たてペロコモ健康教室(5回)」開講し、気功体操や軽スポーツを楽しみました。



瓦屋寺プロジェクト

4. 広報活動への取り組み

建部の歴史と文化、コミセンやまち協の活動を広く知ってもらうため、「建部だより」を毎月発行しました。

5. まちづくり懇談会(相談会)の開催

延命林道(ドライブウェイ)の安全対策と眺望エリアの活用について、11月9日に東近江市幹部と建部自治連およびまち協の役員が意見交換を行いました。



子ども見守り活動

コロナ感染拡大防止のため、以下の事業を中止しました。

- ①建部里まつり(6月6日)
- ②たてベサマーフェスタ(7月18日)
- ③地区運動会(10月10日)
- ④町民祭(11月14日)

次年度以降を見据えた取り組み

1. まちづくり活動の裾野を拡げるための取り組み

「まちづくりのために何かをやりたい」と思っている個人やグループに対し、まちづくり協議会が人的および資金的支援を行う「まちづくり活動支援制度」を策定しました。令和4年度より施行します。



たてペロコモ健康教室

● 中野地区まちづくり協議会

(愛称) **なかのよいまち**

(テーマ、スローガン) 『みんなでつくる なかの よいまち』

【令和3年度】

設立日	平成18年12月9日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉東近江市 中野町781番地5 (中野コミュニティセンター内) 〈電話番号・FAX〉0748-22-0154 〈IP番号〉050-5802-2311 〈e-mail〉nakano-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	代表 小梶 猛		
会議・組織	役員31名(運営委員、監査) 運営委員29名(代表、副代表、事務局長、会計、幹事) まちづくり委員45名(自治会選出、公募委員、含む兼任) 総会構成員101名(まちづくり委員、自治会長、各種団体長、市担当職員) ○まちあるきプロジェクト ○歴史探訪プロジェクト ○山と川保全推進プロジェクト ○50年森整備 ○椋の木保全 ○広報委員会○婚活○もろて～な市		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金 1,728千円/その他:1,072千円 <特別会計>コミセン指定管理料 13,817千円/その他:1,005千円		
情報紙の発行	まちの情報紙「中野地区まちづくり協議会 広報紙」 A4版4ページ 6月、9月、2月の年3回発行、発行部数2,500部/回 <主な内容> 地域に身近でホットなニュース、いま・むかしコーナー、特産品の紹介、サークル紹介、まち協事業、まち協総会報告等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<p>中野地区の総合的なまちづくりを目指して、まちづくり協議会の発足準備段階から続けてきた、毎月7日開催の「円卓会議」で語り合う場を大切にしています。テーマである、「みんなでつくるなかのよいまち」実現に向け、地域福祉の充実を目指し、地区社協と第2層協議体の運営や活動に力を注ぎ、今年度は「まちづくり委員」の研修会を「大en会」として共催しました。</p> <p>今年度も新型コロナ感染拡大が収束しない中、自治会連合会、各種団体が実行委員会で開催している「夏まつり」「文化祭」また「運動会」の代替事業としての「防災&健康フェア」など多くの行事が中止されました。昨年度、円卓会議での提案により、御代参街道を中心とした「なかのまちかどてくてくアート」を今年度も引き続き実施しました。また「50年森整備事業」は森の見守り整備を続けることに留まらず、里山ナニーズや地域の食育活動団体との協働で活動の広がりを増すこととなりました。</p> <p>コミュニティセンター西側の広場についても自治会連合会や地区社協と共に整備も旧中野小学校に設置されていた席門柱を設置して住民の手作りで整備を予定する庭園のエントランスが完成しました。</p> <p>子ども食堂(なかのごはん)も、感染対策をしっかりとする中で、毎月工夫をしながら開催し、もろて～な市も同様に屋外での密を避けた開催にしています。本年度、中野地区にある近江鉄道「太郎坊宮前駅」周辺が整備されたことを受け、地域の活性化を願って記念切符を限定200枚発行しました。マスコミやwebニュースにも取り上げられ早々と完売しました。また、歴史探訪部会では、中野地区の歴史年表を改定し、住民に全戸配布しました。</p>		

● 八日市地区まちづくり協議会

【令和3年度】

設立日	平成18年12月2日	認定日（当初）	平成18年12月5日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市八日市町9-20 八日市コミュニティセンター内 〈TEL・FAX〉 0748-23-4120 〈IP 電話〉 050-8034-1141 〈e-mail〉 8comi920@e-omi.ne.jp 〈HP〉 www.8comi920.online</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: center;"> <p>HP</p>  </div> </div>		
代表者	代表 高村 修	会員数	全住民が対象
会議・組織	<p>執行役員会 年2回（代表、副代表2人、常任理事3人、事務局長、会計、コミセン館長、地域担当職員） 理事会 年2月回（総自治会長6人、コミセン部会5人、プロジェクト部会10人、会員より3人、広報委員2人、地域担当職員） 広報委員会 年4回（編集委員長1人、委員11人） プロジェクト：延命夢クラブ、箕作山麓里・山づくり、八日市冒険遊び場、花いっぱい、いきいきあったかサロン、子育て支援、八日市つながり、清水川湧遊、防災、歴史文化</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉まちづくり総合交付金：1,466千円／その他：406千円 〈特別会計〉コミセン指定管理会計：15,027千円／その他：953千円 〈その他〉3,760千円</p>		
情報紙の発行	<p>八日市まち協だより A4版4ページ 年4回発行 発行部数2,400部／回 主な内容：まち協の活動報告、わがまち探訪、きらり～この人～、八日市ピンポイント、各プロジェクトの活動報告</p>		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などでPRできること	<p>コミュニティセンターの事業報告、各総自治会の紹介など</p> <p>介護保険でカバーできない生活支援サービスを提供する生活支援体制整備事業は、「まちつなぎ八日市」としてまち協で受託し、2年目を迎えました。ちょっとした生活の困りごとをサポートする「あなたの応縁隊ようかいち」、脳活教室やスクエアステップ教室などで介護予防を図っています。</p> <p>歴史文化プロジェクトでは、今年度新たに八日市南小学校の3年生がカルタづくりにチャレンジされました。小学校の3年生は、地域学習で「町」について学ぶとされていますが、八日市南小学校は南部地区の住宅地に立地しているため、学区内に「町」がないことから、「八日市ふるさと絵屏風」が教材として最適であったようです。そこで、今後の活用を期待して「八日市ふるさと絵屏風」のレプリカを贈呈しました。</p> <p>近江鉄道をまちづくりにどう活かすかについて、自治会連合会では、新しく制作された「映画ガチャコン！」の上映会を企画され、併せて日野駅の取り組みについても研修しました。まち協としても、まちづくりと近江鉄道について考える仮称「まち鉄プロジェクト」の取り組みを始め、正式なプロジェクトとしての発足を目指します。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介

八日市南小学校で八日市ふるさと絵屏風のレプリカ贈呈と3年生児童制作のカルタ



映画「ガチャコン！」鑑賞のあと、日野駅舎の活用について研修



仮称「まち鉄プロジェクト」で計画中のまち歩きの下見

湖南鉄道飛行場線の廃線跡→

↓レトロな新八日市駅



● 南部地区まちづくり協議会

(愛称) ときめく南部(まち)

(テーマ、スローガン) 『誰もが笑顔で暮らし、活力あふれるまち』

【令和3年度】

設立日	平成17年9月19日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市沖野2丁目1番34号 南部コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-23-1573 〈IP番号〉050-8034-1573 〈e-mail〉nanbumachikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 森 基一	会員数	70名
会議・組織	役員会5名(会長、副会長2名、事務局長、会計)(内副会長1名は自治連会長) 運営委員会14名(役員、専門部会長(兼務有)コミセン館長、地域担当職員) 評議委員会30名(役員、地区内自治会長14名、各種団体長10名) 拡大運営委員会 運営委員全員 会員の範囲 趣旨に賛同する個人、各自治会からの推薦者、各自治会(団体会員)		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金: 1,640千円/その他: 913千円 <指定管理会計>コミセン指定管理料: 13,756千円/その他: 1,230千円		
情報紙の発行	1. まち協会員向けA4両面版「ホットニュース」毎月25日発行 事業日程並びに参加案内及びイベント案内 2. 南部地区内総合広報紙「南部だより」毎月発行にトピックス及び 実施事業案内を掲載		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	まちづくり協議会の活動 1. 地域住民間の交流と連帯 地域住民間の親睦や交流を図り、コミュニティづくりを進める。 ○南部まつり(6月)の協賛・南部みんなの秋まつり(11月)の実施 ○地域住民福祉活動計画の一環「ほっとまちカフェ」の運営(毎月7日) ○地域学校協働本部事業との連携「がくしゅう会の実施」 2. 地域問題の解決と住み良い環境づくり 安心・安全なまちづくり、住みよい環境づくりを進める。 ○再資源可能物(リサイクル品の回収) ○休耕田を活用し野菜栽培を通じて、地域の児童等とのふれあいを深める ○交通安全運動(交通安全立ち番 月2回)子ども達への挨拶運動 ○地域美化活動として毎月一回道路沿いのゴミ清掃 ○命のバトンの配布事業 3. コミュニティセンターの管理運営 コミュニティセンターを核としたまちづくりを進める。 ○コミュニティ(まちづくり)の核としてのコミュニティセンターの 管理運営		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1. コミュニティセンターの運営管理

- ・コミュニティセンター内外環境の整備、維持管理
駐車場及びコミセンひろば（仮称）整備
- ・各種コミセン事業の実施
社会教育、高齢者講座
（スマイルセミナー他）
家庭教育：青少年教育
（なんぶっ子、すこやかキッズ）
その他



2. 少子高齢化時代に役立つ地域風土作り

- ・老若男女が集える場づくりで、
ほっとまちカフェを継続
- ・ワーキング会議への参加協賛
- ・命のバトン配布事業の推進



3. 住みよいまちづくりの推進

- ・資源ごみの分別収集を推進し環境意識の向上と、
再資源化の協力を進める
- ・あびこ（挨拶・美化・交通安全）活動
の継続展開
- ・八日市南小学校芝生の維持管理活動
（まち協と有志による支援活動）



4. 男女・年齢を問わず皆が集い、学び趣味を生かせる場作り

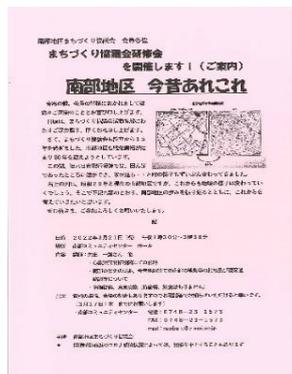
- ・愛犬家による地域パトロール
- ・「ふれあい農園」（休耕田の活用）での野菜の収穫体験や
子ども森で焼き芋体験
（幼稚園・南部こどもの家）
- ・学習支援活動（べんきょう会）で学習
の習慣づけ（八日市南小学校）
- ・粋生サロン、小物づくりを通じた
生きがいづくり



5. 地域の成り立ちを学ぶ

「心象沖野開拓絵図」を活用して、南部地区の歴史と成り立ちの伝承

- ・お達者クラブ
「郷土文化研修」
- ・まちづくり協議会研修
「南部今昔あれこれ」



● 永源寺地区まちづくり協議会

(愛称) We Are The One “みんなでひとつ”

(テーマ、スローガン) 『里いっぱい 新呼吸 笑顔のまち えいげんじ』

【令和3年度】

設立日	平成 17 年 9 月 30 日	認定日 (当初)	平成 17 年 10 月 17 日
コミセン 指定管理開始日	平成 26 年 4 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	〈所在地〉 〉 東近江市山上町 1316 番地 永源寺コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0505-802-9336 〈IP 番号〉 0748-27-1974 〈FAX〉 0748-27-1974 〈e-mail〉 e-net6500@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/		
代表者	会長 山田 重三	会員数	55 人
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会 (会長、副会長、監事) 5 人 …随時開催 ・運営委員会 (役員、部会長、各種団体長、会長が指名した者) …概ね 2 ヶ月 1 回開催 ・専門部会 (6 部会) …随時開催 		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金: 3,014 千円 / その他: 4,161 千円 <指定管理会計> コミセン指定管理料: 30,700 千円 / その他: 1,408 千円		
情報紙の発行	e - NET 6 5 0 0 年 6 回発行 A4 / 最大 1 2 頁 カラー (現在: No.101) (まちの話題、まちきょうだより、クローズアップ 他) e - NET 6 5 0 0 情報版 毎月発行 A4 / 4 頁 白 黒 (現在: No.202) (イベント等告知、くらしのカレンダー、学校・園だより、コミセンだより他) ホームページ 随時更新		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PR できること	<p>「自らの地域は自ら考え自ら行動していく」を基本に、地区の伝統文化を再発見し継承していくと共に、次代を担う人材を地域の子育て団体と協力し、地域活力を生み出す、そんなまちづくりをめざしています。</p> <p>今年度も新型コロナ感染症の影響により、規模の縮小や屋外での事業を企画し、しっかり感染症の防止対策をした中で取り組みました。</p> <p>○地域の良さを再認識し、継承していく取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大本山永源寺ライトアップ ・きらり！えいげんじ再発見事業 <p>○環境にやさしいまちづくりへの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別意識の高揚 (エコキャップ、プルトップ、割り箸の回収) ・大型金属資源回収 (3 会場にて) <p>○第 1 0 0 号発行の情報誌等を通じ、地域連携を深め地域間交流の推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなのふるさと祭り (文化祭) ・まちづくりフォーラム <p>※地域固有の資源を活用して活動を行なうことにより、地域の良さを住民みんなで共有し、地域に対する誇りと愛着心の醸成に繋げていこう。</p> <p>より多くの住民の皆さんが参画しやすい組織にするため、事業やイベントを企画・運営することについて、各自治会や地区内各種団体等と連携を密にし、互いに協力し合い活動しています。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

- 平成26年4月1日より永源寺コミュニティセンターを指定管理しており、コミセン事業と連携したまちづくりに取り組んでいます。
- 地区自治会連合会と連携し、行政への要望を直接出来る「まちづくり懇談会」の実施や自治会単位では困難である大型金属資源回収やリサイクル活動としてペットボトルのキャップとアルミ缶のプルトップ、使用済み割り箸の回収を実施しています。

4月 フィールドワーク「千草街道を往く」



12月 冬の星空観察会



12月 寄せ植え教室



5月 総会



11月 大本山永源寺ライトアップ



5月 ごみゼロ大作戦



令和3年度
永源寺地区まちづくり協議会

5月 花いっぱい運動



永源寺

7月 夏の星空観察会



9月 大型資源ごみ回収（中部地区・東部地区）



10月 大型資源ごみ回収（西部地区）



● 五個荘地区まちづくり協議会

(愛称) GO!まち協

(テーマ、スローガン) 心イキイキはつらつと みんなが愉しむまちづくり

【令和3年度】

設立日	平成18年3月18日	認定日(当初)	平成18年3月23日
コミセン 指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市五個荘小幡町318 (五個荘コミュニティセンター内) 〈電話番号〉 0748-48-7303 〈IP番号〉 0505-801-7303 〈FAX〉 0748-48-6454 〈e-mail〉 go-machikyo@e-omi.ne.jp</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  ホームページ </div> <div style="text-align: center;">  Facebook  </div> <div style="text-align: center;">  LINE  </div> <div style="text-align: center;">  Instagram  </div> </div>		
代表者	会長 小杉 勇	会員数	地区住民全員
会議・組織	<p>役員会 6人(会長、副会長、事務局長、館長) 運営委員会 26人(役員、相談役、各事業部正副部長、有識者) 事業部会 安心・安全部会11人、環境部会15人 歴史・文化部会15人、地域福祉部会21人、情報誌部会7人 自治会推薦まち協推進員48人 地域担当職員7人、地域イベント協力隊87人 構成員 五個荘地区に在住、在勤する全ての人と地域の活動団体</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉まちづくり総合交付金 2,921千円/その他 3,279千円 〈指定管理会計〉コミセン指定管理料 28,646千円/その他 2,854千円</p>		
情報紙の発行	<p>まちづくり情報誌「GO!まち協」 A4版8ページ 偶数月 6回発行 発行部数4千部/回 〈主な内容〉特集、まちの話題、ひと・まち・団体の紹介、行事予定 他</p>		
指定管理や組織運営、自治連 や各種団体との連携、まちづ くり活動など で特にPRで きること	<p>【重点施策】 新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても将来像の実現に向け、費用対効果の視点や創意工夫を持って取り組むとともに、社会情勢に適合しなくなった古い制度を見直し、新陳代謝を進めることで、常に地域のニーズに応え、五個荘地区の個性を活かしたまちづくりの実現を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">歴史・伝統・文化・観光のまちづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">健康・子育て・福祉のまちづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">人・地域とのつながり・人権・教育のまちづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">安心・安全・環境第一のまちづくり</div> <p>【協働事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山道五個荘にぎわい事業委員会 蔵倉庫利活用、中山道古地図制作計画・米まんじゅう復活試作 東近江トレイル実行委員会 里山保全活動の3団体、健康推進団体と協働し、エコツーリズム事業の充実・観光事業の促進・地元経済の活性化を目指します <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  <p>ほく「てんびん坊や」です。 五個荘の パブリックキャラクター として活躍中です。</p> </div>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

◆令和3年度ふるさとづくり大賞 総務大臣賞 受賞

2月14日(月)オンライン表彰式が行われました。地元住民や自治会が一丸となった取組みが受賞につながりました。



◆生ごみ減量化 「ダンボールコンポスト推進」

東近江市のごみの処理費用は約15億円とも言われています。平成23年に生ごみ減量化活動に取り組みを始めてから、可燃ごみは9年間で★排出量2,145トン★処理費用7,078万円減らすことができました。



◆大型金属資源回収(年3回)

延べ106人のボランティアが年間約16tの金属資源を回収しています。



◆てんびんの里五個荘 ごみゼロウォーク

五個荘のまちをウォーキングしながら清掃活動を行いました。



◆「まち協農園」復活

地区内の親子14組とスタッフ、総勢50名がさつまいも苗(鳴門金時)360本の植付けと収穫体験をしました。秋には300キロを超える大収穫となりました。収穫したさつまいもは子ども達や関係者に分配し、社会福祉協議会を通して福祉施設にも寄付しました。



◆「GO!まち協」発行

まちの話題など地域の情報満載。地域の特産品が当たる「五個荘クイズ」も人気です。



◆「オンラインてんびんの里ふれあい広場2021」開催

◆コミュニティセンター事業

地域の活動拠点として「集う」「学ぶ」をテーマにした生涯学習事業等を展開しています。

・てんびんの里わくわく体験講座(小学生対象)



・はつらつてんびん塾 (60歳以上) 夏休み勉強会(3日間)



11/4 日本茶の美味しい淹れ方

◆五個荘地区住民福祉会議

「だれもが人財 みんなで支えあう まち五個荘」を合言葉に活動しています→

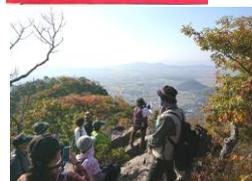


◆東近江トレイル実行委員会



←東近江トレイルツアー開催 ↓(織山・箕作山)

↓エコツーリズムガイド スキルアップ講習会



↑東近江トレイルルート道標設置(15ポイント)

● 愛東地区まちづくり協議会

(愛 称) 愛の田園(まち) ネット

(テーマ、スローガン)「みんなで楽しく、誰もが好きと言えるまちに！」

【令和3年度】

設立日	平成17年5月21日	認定日(当初)	平成17年7月21日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉東近江市下中野町431番地 愛東コミュニティセンター内 〈電話番号〉0749-46-2270 〈IP 番号〉050-5802-8614 〈FAX〉0749-46-2270 〈e-mail〉machinet@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://members.e-omi.ne.jp/machinet</p>		
代表者	会長 藤関 明雄	会員数	89人(内訳 正会員…個人 57・家族5、自治会22、賛 助会員5)
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> ・役員 9人 (会長、副会長(3)、監事(2)、事務局長、事務局次長、顧問) ・運営委員会 24人 (役員、専門部会長、地域担当職員、支所職員、地域おこし協力隊等) ・評議委員 22人(自治会長) ・まちづくり委員 22人(各自治会1人) <p>【専門部会】広報部、防災部会、地域ふれあい活動部会、花づくり部会、福祉プロジェクト部会、イベントサポートプロジェクト部会、愛のまち交流プロジェクト部会、獣害対策プロジェクト部会、愛東呼びたいプロジェクト部会、文化活動部会</p>		
予算等の概要	<p><一般会計>まちづくり総合交付金：2,646千円/会費：674千円 /その他：2,117千円 <特別会計>コミセン指定管理料：27,104千円/その他：3,851千円</p>		
情報紙の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・元気なまちづくり情報誌「愛の田園(まち)だより」 ・A4版 8ページ 毎月発行 発行部数1,400部/月 <p>〈主な内容〉地域の話題、イベント案内、各部会事業報告 コミュニティセンターの情報等</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<ul style="list-style-type: none"> ●次の3つを重点に活動を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・愛東の「ひと・もの・こと」の良さや強みを活かすこと ・住みたくなる・住み続けたいまちにすること ・子どもたちに「ふるさと」意識を高めること ●まちづくり計画の見直し 今年度と来年度でまちづくり計画の見直しを行います。 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

(1) まちづくり三者合同会議

自治連とまち協と支所とが連携を図るために意見交換等を行っている。

(2) 愛の田園づくり会議

地区課題の掘起し、解決に向けた取り組みを自治連、市議会（現・前・元）まち協OB、有識者で構成している。

(3) まちづくりの三本柱のコミセンの活動 次の3つの柱で活動している。

- ①「あいとうの個性をつくる」 愛東のよさ（自然・歴史）を再発見
- ②「生きがいをエンジョイする」 ライフステージに応じた学ぶ楽しさ
- ③「コミュニティをつくる」 お互いにつながり合うよろこぶ

(4) ぐるっペマルシェの開催

出店者は地域のお店をされている方、ハンドメイドをされている方で、地域の人たちに楽しんでもらえる場所づくりをした。

(5) 活動内容

【本部】

- ・ 経田川清掃活動（6/13・10/31）
- ・ 成人式祝砲花火（1/9）

【広報部】

- ・ 元気なまちづくり情報誌「愛の田園だより」毎月発行

【防災自治まちづくり部会】

- ・ 防災出前講座参加
- ・ 命を守るボール製作・配布



【地域ふれあい活動部会】

- ・ お楽しみ抽選会実施
- ・ 出前サンタ実施
- ・ イルミネーション実施



【花づくり部会】

- ・ 美しい花のある風景のある町づくり
花街道整備及び町内プランター設置
- ・ 道路愛護作業実施（年6回）



【福祉プロジェクト部会】

- ・ 8月10日「バトンの日」啓発活動
- ・ 命のバトン啓発ポスター及び標語募集
- ・ 移動・移送支援／・認知症啓発活動

【イベントサポートプロジェクト部会】

- ・ バザー実施による地区内イベントの盛り上げ支援

【愛のまち交流プロジェクト部会】

- ・ 愛のメッセージ実施



【獣害対策プロジェクト部会】

- ・ 集落ぐるみの追い払い活動への支援

【愛東呼びたいプロジェクト部会】

- ・ 百済寺PR 動画作成

【文化活動部会】

- ・ コミセンロビーで小さな美術館開催
- ・ 愛東文化展開催（10/29～12/1）



● 湖東地区まちづくり協議会

(愛称) 好きやねん湖東

(テーマ、スローガン) いきいき ほのぼの わくわく あったか湖東時間

【令和3年度】



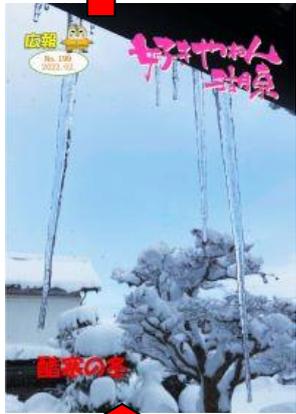
設立日	平成 17 年 7 月 14 日	認定日 (当初)	平成 17 年 9 月 20 日
コミセン 指定管理開始日	平成 24 年 4 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 28 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市池庄町 495 番地 湖東コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0749-45-0950 〈IP 番号〉 050-5801-0950 〈FAX〉 0749-45-2049 〈e-mail〉 suki-koto@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.sukisuki-koto.jp/		
代表者	会長 小島 善雄	会員数	地区内市民が対象
会議・組織	総会、理事会、運営委員会、まちづくり推進員会議 部会 福祉部会、広報部会、防災コミュニティ部会、みどり環境部会、湖東企画部会 プロジェクト 湖東歴史文化 PJ、子育て支援 PJ、子どもいきいき PJ、福結び PJ、音楽を聴こう PJ、映画を撮ろう PJ		
予算等の概要	〈一般会計〉まちづくり総合交付金：3,892 千円／その他：513 千円 〈特別会計〉 コミセン指定管理料：30,251 千円 その他：3,649 千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「好きやねん湖東」 毎月 1 回発行 A4 版 4 面 発行部数 2,700 部／月 コミュニティセンターと共同編集 〈主な内容〉表紙には地域のトピック写真とコメント、まち協や各種団体の活動紹介や行事予定、暮らしの情報、コミセン関係記事など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PR できること	<p>◎ 各種団体との連携</p> <p>各自治会から 1 名ずつ選出されたまちづくり推進員と防災推進員に、活動に協力いただいています。また、自治連はじめ各種団体からの代表に、理事会に加わっていただいています。コトナリエやふるさとまつりなどイベントの実行委員会の他、あいさつ運動・青パト巡回・いこいこ広場や各種プロジェクトにおいても、各種団体と連携しながら進めています。</p> <p>◎ 歴史と文化に触れられるまちづくり</p> <p>湖東地区にも固有の歴史と文化があります。それらのことを知れば、郷土を大切に思う気持ちも深まります。そのために、身近な地域の歴史を学ぶまち歩き（左下写真）や展示、「明治時代の古地図」の編纂などの事業に取り組みました。</p> <p>他にも、ジャズやクラシック音楽のレコード・CD コンサートや映画上映会、ふるさと文化展、文化ステージ発表会などを行いました。</p>		



令和3年4月



3月



2月



令和4年1月



5月



6月



7月



8月



9月



10月



12月



11月

広報誌「好きやねん湖東」フォトギャラリー

今年度もコロナ禍に苦しめられ、多くの事業が中止に追い込まれました。そんな中でも負けずに頑張ったのが広報部会。行事が無くとも企画で勝負！表紙の写真にも工夫を凝らしました。

夏のコトナリエが2年ぶりの開催！花火やステージはできず、イルミネーションの展示だけとなりましたが、その分期間を長くして、たくさんの人に見ていただきました。

昨年度からスタートした青パト巡回と「いこいこ広場」は、さらにパワーアップして…とりたいところだけど、深く静かに頑張っています。

子どもたち対象の企画としては、恒例となった新入生通学路ウォークの他、小中学校の卒業生を招いて行う記念イベント（花火打ち上げ付き）や、中学生の防災キャンプも実施。

他にもここに書ききれないほど（半分嘘）た～くさんのことを行いました！

● 一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(愛称) ホップ♪ステップ♪のとがわ

(テーマ、スローガン) 『住みよい 住みたい 住み続けたい 水車のまち 能登川』

【令和3年度】

設立日	*平成19年3月10日	認定日(当初)	平成19年3月13日
コミセン指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	<所在地> 東近江市躰光寺町262番地 <IP電話番号> 050-5802-2793 <FAX> 0748-42-1556 <e-mail> notomatikyo@e-omi.ne.jp <ホームページ> http://notomatikyo.com/		
代表者	代表理事(会長) 藤居正博	会員数	262名
会議・組織			
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:5,421千円/その他:1,144千円 <特別会計>コミセン指定管理:45,848千円/6,638万3千円 /その他(ホール指定管理料、公園指定管理料等):20,535千円		
情報紙の発行	■まちの情報紙「ホップ♪ステップ♪のとがわ」8,700部/回(全戸配布) A4版 6ページ(カラー4、モノクロ2) 偶数月 年6回発行 ■会員情報紙「のとまち協 NEWS」毎月1日発行(280部)		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 能登川小・中・高校と多彩で多方面な連携(その一部記載) <ul style="list-style-type: none"> ・JR能登川駅前を花で飾る「フラ輪プロジェクト」活動支援(小・中) ・「防災教育」で、命を守るための災害発生時の備えと対処を伝授(小) ・「びわ湖ホール声楽アンサンブル演奏会」に招聘、本物の音楽を提供(小) ・Lighting Bell in NOTOGAWA イルミネーションの飾り付けに参画(高) ○ 「能登川病院をよくする会」活動に参画。住民の為の地域医療発展を支援 ○ 「東近江市観光ボランティアガイド協会能登川支部」活動を支援 ○ 「防災マップ」を活用した「自治会ヒアリング」や「防災チェックシート」等、通年、地区の防災活動に果敢に取り組む。本年、HPに自治会別洪水ハザードマップの閲覧を可としたが、「8月の大雨」の避難可否判断に役立ったとの評価を得た。コロナ禍12月によく、「能登川地区防災研修会」を開催 ○ 自治会別の懇談(「まちカフェ」)機会を誘う。課題に共に悩み考え解決へ ○ 「栗見プロジェクト」(琵琶湖岸復活大作戦)で甦る琵琶湖岸実現へ3年目 ○ 能登川地区文化協会文化公演会「映画観賞会」に協賛他、スポーツ協会等各種市民活動団体の事務局業務やその活動に支援や参画 ○ 「元気のつどい」はじめ、健康長寿を目指した健康推進諸活動促進。婚活も ○ 将来的なまちづくり、能登川地区全住民アンケートを実施。結果は次年度に 		

*2013年(平成25年)4月1日法人化 *2015年(平成27年)11月20日現コミセン竣工式

広報事業部
情報紙発行



安全・安心事業部

新「防災マップ」が全戸配布されたのを機に、自治会別（毎）の洪水ハザードマップをHPで閲覧可能にした。（右例）
通年、地区防災の意識を醸成するため、不断の活動に注力した。



栗見プロジェクト 湖岸景観の美化・自然環境の保全を地元自治会と行う4年目の活動。次年度も継続予定。



琵琶湖岸復活大作戦!!

環境事業部

11/10 能登川中学校美化活動「フラ輪プロジェクト」支援。JR 能登川駅前を花で飾ります。フラワーポットは現在 37 基。11/15 能登川南小学校も参画。駅東口を担当。



第 18 回 2021

Lighting Bell in NOTOGAWA

年末年始、JR 能登川駅東西口広場でイルミネーション点灯。
We are planning to return to “林中央公園” next year.



2019 年模様

歴史・文化事業部

猪子山を拠点とし、古墳群・里山整備等、能登川南小学校や八日市南高校と連携。ハイキング・トレッキンググループ、ボランティアガイド協会等にも支援の輪を広げ活動を活発化した。



ふるさと散歩道事業部

市の魅力度向上には物語が必要。磐座・巨石崇拝の「猪子山」(下)はその条件が整う聖地。聖徳太子薨去 1400 年も控え、活動の幅を一層広げ、東近江市の活性化に寄与する。



まちづくり事業部

施設運営事業部 11/16 コミュニティセンターホールで「びわ湖ホール声楽アンサンブル演奏会」を主催し、能登川地区4小学校6年生(221名)を招待、本物との出会いを体感。指定管理施設の有効利用と地域住民の健康と生き甲斐づくりに努める。



健康福祉事業部

心豊かに健康で共に生きられるよう日々活動。「能登川病院をよくする会」の活動にも参画。婚活も支援怠らず。「元気のつどい」・「おしゃべりカフェ」は高齢者に人気



健康寿命をのびて今年も開催!!

2022年 第22回 **元気のつどい**

カゴメ集合型セミナー&ページェット

日時/3月5日(土) 9:30~11:30 (受付 9:00~)

場所/能登川コミュニティセンターホール

講師/波多野 純乃氏
演題「食生活改善セミナー」
～健康を戻せる、行動も変える～

※リジャストについて
※当日の開催に「集合型セミナー」は9:30開演
※参加費無料(ただし、2名以上参加費を要する場合があります。)

※主催/能登川地区まちづくり協議会(能登川地区自治会連合会)

※協賛/カゴメ(株) 能登川地区まちづくり協議会(能登川地区自治会連合会)

※お問い合わせ(TEL) 参加申込係 受付 申込

氏名	性別	年齢	住所

※お問い合わせ用紙は、このウェブサイトからダウンロードいただけます。

● 蒲生地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) 『このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり』

【令和3年度】

設立日	平成18年11月18日	認定日(当初)	平成18年11月22日
コミセン指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉 東近江市市子川原町461-1 蒲生コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-55-3030 〈IP番号〉 050-8035-8437 〈e-mail〉 gamomachikyoe@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.gamoyume.org/		
代表者	会長 佐川 昭子	会員数	(R4.1.1現在) 14,388人
会議・組織	総会 111 (自治会代表、自治会まちづくり委員、地域活動団体代表) 役員会 5 (会長、副会長、事務局長、会計、(監事除く)) 企画会議 14 (役員、委員会委員長、専門部会部長) 運営委員会 36 (企画会議メンバー、運営委員、自治連三役) (特別委員会) ・まちづくり計画推進委員会 13 ・広報企画委員会 6 ・ふるさと蒲生野川づくり委員会 7 (専門部会) ・ひだまり部会 8 ・ふれあい交流部会 14 ・エコランド部会 3 (他にモニター30) ・あかね部会 7 ・万葉ロマンの里づくり委員会 8 ・地域活性化部会 10 自治会まちづくり委員会 41 蒲生まちづくり会議(県議・市議、自治連、JA、商工会、行政、医療センター、各種団体、コミセン、まち協 他)		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:4,627千円/会費:2,100千円/委託金:1,231千円 /その他:1,973千円 <特別会計>コミセン指定管理:37,273千円/その他:3,577千円		
情報紙の発行	1 蒲生まち協の広報紙「がまちョコ」 A4版4ページ 毎月20日5,200部発行 2 FMひがしおうみ(RadioSweet)81.5MHzにて、 毎月第2土曜日午前11時から、蒲生まち協番組「Happy Gamo」(30分)放送 〈主な内容〉まち協の情報、自治会のまちづくり紹介、各種団体の活動紹介等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	年間の事業は、まちづくり計画を軸に、自治会連合会とまち協が両輪となり関係団体、企業等と連携しながら活動を展開している。その上で、 1.自治連との連携強化 自治連・まち協合同研修会を開催 2.蒲生まちづくり会議の開催 コロナ禍の中、蒲生地区の課題解決を図るため県議・市議、自治連、JA、商工会、行政、医療センター、各種団体、コミセン、まち協他が情報共有、意見交換会を開催 3.2030年蒲生の将来を目指し改定した「まちづくり計画書」の具現化を図るため、「(一社)がもう夢工房」と連携した取り組みをおこなっている(食の六次産業化、着地型観光、援農隊) 4.「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催 「ガリ版伝承によるまちづくり全体構想」を関係団体、行政と協働の方向性を探る 5.コロナ禍の中、「花火打ち上げで蒲生を元気に!」をまち協が事務局を担い実行委員会で開催 6.子ども円卓会議の開催(小・中学校代表、地域コーディネーター代表、社協など子どもへの地域教育活動を行っている団体と活動の現状・課題を共有し、各々で出来ること、協働で出来ることの方向性を探る)		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 蒲生コミュニティセンターの管理運営を受託

2 本部事業

- ・「自治会連合会と研修・学習会」を協働で開催
- ・「蒲生まちづくり会議」の開催
- ・「蒲生地区まちづくり協議会設立15周年記念フォーラム」の開催
- ・「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催
- ・「大型金属性資源回収事業」の実施 ・「蒲生地区新年互礼会」の開催
- ・子ども円卓会議の開催
- ・「蒲生スマートインター周辺活性化プロジェクト」の設立
- ・「花火打ち上げで蒲生を元気に！」を実行委員会で開催（事務局担当）
- ・蒲生西小学校「蒲生の未来を提案しよう！」に参加
- ・地域担当職員（地域担当職員ワークショップ等）、地域応援隊との連携
- ・蒲生医療センターへの協力支援
- ・視察の受け入れ（1団体8名） ・オンラインによる視察（1団体）・講演依頼（1団体）
- ・人材バンクシステムの構築 ・「（一社）がもう夢工房」に参画

※あかね夏祭り、いきいきあかねフェアは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3 委員会活動

(1) まちづくり計画推進委員会

- ・まちづくり計画進捗管理 ・蒲生地区のまちづくりに関するアンケート調査の実施結果の分析から今後の取組みを検討

(2) 広報企画委員会

- ・広報紙「がまチョコ」毎月発行 ・FM ひがしおうみ放送番組“HappyGamo”
- ・まちづくり協議会15周年記念誌発行
- ・幅広く情報発信及び情報収集

(3) ふるさと蒲生野川づくり委員会

- ・川づくり啓発活動の取組み（のぼり、ポスター、チラシ等）
- ・日野川および佐久良川の現状調査の実施
- ・日野川および佐久良川モデル地区の「除草作業とゴミ拾い」作業の実施
- ・ふるさと美化「蒲生野の日」（第3土曜日）を定め、美化活動参加と意識向上の啓発

4 部会活動

(1) ひだまり部会

- ・「防災・減災のつどい」に事例発表
- ・安心、安全のまちづくり事業 ・命のバトン事業

(2) ふれあい交流部会

- ・まち協音頭、健康体操の啓発
- ・「わいが屋@せせらぎ」開催時に健康相談、食生活相談、血圧測定等の実施
- ・「認知症予防講座」、「親子の栄養講座」の開催 ・健（検）診啓発
- ・拠り所創造事業へ参画

(3) エコランド部会

- ・健康野菜いっぱい運動 ・コンポスト（設置型・ダンボール）の普及、補修
- ・ゴーヤカーテンの設置 ・市より生ゴミ減量化推進事業の受託

(4) あかね部会

- ・シニア世代の仲間づくり、生きがいづくり（応援塾・おしゃべりコーディネーター）
- ・市結婚サポート連絡会に参画 ・拠り所創造事業へ参画

(5) 万葉ロマンの里づくり部会

- ・あいがもけんぶん塾（蒲生コミセンと協働で開催）
- ・マックスクラブ（わくわくチャレンジ探検隊）への参加
- ・広報誌がまチョコに「がもうの話し」「野謙記」（野口謙蔵の日記）を連載
- ・「万葉・蒲生野のまちづくりを進める会」に参加
- ・「（一社）がもう夢工房」と連携

(6) 地域活性化部会

- ・特産新品種栽培管理（果樹植栽後の育成管理、収穫）
- ・コスモス栽培による見せる（魅せる）農業の実践
- ・「蒲生スマートインター周辺活性化プロジェクト」に参加
- ・「（一社）がもう夢工房」と連携



【自治連との合同研修会】



【設立15周年記念フォーラム】



【蒲生西小「蒲生の未来を提案しよう!」】



【ガリ版伝承によるまちづくりの会】



【花火打ち上げて蒲生を元気に!】



【新年互礼会】



【認知症予防講座】



【コンポスト講習】

いつも、いまも、これからも。

PIONEER CITY

東近江イズム。 HIGASHIOMISM

地の利、人の和、自然の恵み。
まちを包むうるおい、にぎわい、ここちよさ。
時代を変えてきた歴史への誇りを胸に、
新たな時代を拓く人がいる。
いつも、いまも、これからも。あなたとともに。

パイオニアシティ・東近江市

【東近江市概要】

- 面積 388.37 km²
- 人口 113,215 人
- 世帯数 45,797 世帯

(令和3年10月1日現在)



【発行】令和4年3月

〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

東近江市総務部まちづくり協働課 TEL 0748-24-5623 <http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>